

後援会通信「グロース」春号

# GROWTH

—大学と家庭をむすぶ—

Linking the University with Families

2008 Spring

vol.

12

学窓に刻まれし歴史を旅する。



## 赤レンガ造りの学舎は賞賛と憧憬の的。 仙台神学校から東北学院へ。 そこは若き才能のゆりかご。



D.B.シュネーダー夫妻

1886(明治19)年、アメリカ合衆国のニューヨーク港内に浮かぶリパティ島に、高さ46メートルの白亜の像「自由の女神」が現れました。松明を空高く掲げる姿は、自由と民主主義、そして新天地の象徴であり、移民をはじめ多くの人びとの心に明かりを灯しました。同年、約1万キロ離れた仙台の地に、W.E.ホーイと押川方義の手により誕生した「仙台神学校」は、まさに新時代を拓く精神と知識の象徴であり、高き志を持った若者が次々とその扉を叩きました。1887(明治20)年には、開通したばかりの東北本線に乗ってD.B.シュネーダー夫妻が着任。以後50年にわたって続く伝道と教育への献身の日々が始まりました。

1891(明治24)年、仙台神学校は東北学院と改称され、伝道献身者以外にも広く門戸が開かれました。院長押川を慕い、身一つで故郷を出てくる青年が相次いだため、働きながら学ぶ労働会が創立されました。ここから巣立った若き才能は、枚挙に暇がありません。赤レンガ造りの壮麗な学び舎も完成し、人びとの賞賛と少年たちの憧憬を集めました。こうして連綿と続く、東北学院の礎がしっかりと据えられたのです。またこの時期、文運とみに榮え、『東北文学』(1893刊)、労働会寄宿舎の機関紙『芙蓉峰』(1896刊)などが次々と創刊されました。1896年(明治29)年から約1年、教壇に立った島崎藤村は、在仙中に第一詩集『若菜集』の詩想を練ったといわれています。

東北学院の基礎が磐石のものと見て取った押川とホーイは、それぞれ新しい領域へと活躍の場を移していきました。時く奇しくも20世紀の幕開け、東北学院の未来は、シュネーダーの双肩にゆだねられることとなったのです。

❖ 次号へ続く

<b>CONTENTS</b>	<b>01</b> 学窓に刻まれし歴史を旅する。 シリーズ②	<b>09</b> 倶楽部拝見 スケート部
	<b>03</b> 後援会会長挨拶 丸森伸吾 会長	<b>10</b> サークル紹介 LIBERO (リベロ)
	<b>04</b> 学長挨拶・役員名簿 星宮望 学長	<b>11</b> 年間スケジュール
	<b>05</b> 後援会総会開催のお知らせ	<b>12</b> 学務部より
	<b>06</b> 地区後援会開催のお知らせ	<b>13</b> 学生部より
	<b>07</b> ゼミ・研究室探訪 高橋信二ゼミ	<b>14</b> 就職部より

学都仙台、史跡の町多賀城、これらの地域にある3つのキャンパスに本年も新入生を迎え、新しい年度がスタートしました。東北学院大学後援会は、学生の勉学や課外活動を支援するために組織されたものです。また、本誌「グロース」は、大学の近況を後援会会員であるご父母の皆さまへお伝えする情報誌であり、大学と家庭の架け橋となるものです。今号では、後援会総会や地区後援会の開催などについてお知らせしております。学生の充実した大学生活と東北学院大学の発展のために、ご父母の皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。





## 丸森 仲吾

Chugo Marumori

株式会社七十七銀行代表取締役頭取、社団法人全国地方銀行協会副会長などを歴任。現在、株式会社七十七銀行代表取締役会長、仙台商工会議所会頭、日本商工会議所副会長、東北経済連合会副会長などを務める。

暖かく優しい日差しが注ぎ、草木の芽ぐむ季節となりました。在学生のご父母の皆さまには、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃は、本後援会の活動に対しまして、格別のご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。今春も、東北学院大学後援会の会員として、新たに3,000余名の新入生のご父母の皆さまをお迎えいたしました。新入生のご父母の皆さま、ご入学おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

本後援会は、在学生のご父母の皆さまを会員として、ご子女の円滑な学生生活と大学の充実・発展に寄与するため、昭和24(1949)年に設立され、各種の活動を展開してまいりました。その中でも、「後援会総会」と「地区後援会」は、ご父母の皆さまと大学の教職員が直接交流できる場として大変好評をいただいております。また、後援会では、皆さまからの会費をもとに学生の正課および課外活動に対する補助や奨学金への助成を通して、ご子女の学生生活の支援を行っております。支援活動の一つとして「東北学院大生のための合同企業セミナー」や「低学年生に対する進路支援」、「面接対策講座」、「企業研究講座」など、就職活動への助成を積極的に行っております。また、3キャンパスの体育施設・警備室に「自動体外式除細動器(AED)」を設置し、学生に対する危機管理対策なども行っております。

このように、後援会は大学と家庭の連携を密接にしながら活動しており、平成20(2008)年度も後援会総会と地区後援会を実施してまいります。特に後援会総会では、大学の協力を得て、「教員による公開講座」「パイプオルガンコンサート」「学務部・学科別懇談会」「学生部・就職部による相談コーナー」「学生の就職を考えるセミナー」など、多彩なプログラムを用意しております。昨年は、約800名のご父母の方々に後援会総会と大学開放プログラムにご参加いただきましたが、今年もより多くのご父母の皆さまが大学の教職員と意見を交わすことができ、有意義なひとときを過ごしていただきたいと願っております。

地区後援会については、北海道札幌市から宇都宮市までの全28地区で開催いたします。総会と同様に、ご父母の皆さまと交流が図られますよう各地区に大学から教職員を派遣していただき、大学の教育方針の説明や近況報告、教員による公開講座、学務部・学生部・就職部による説明や個別面談などを実施いたします。後援会といたしましては、親元を離れて学生生活を送っているご子女の成績や就職問題などについて、少しでもご父母の方々の悩みや不安の解消につながればと願っている次第です。

最後になりますが、会員の皆さまには、今後とも本後援会の活動に積極的にご参加いただき、更なるご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。





## 星宮 望

Nozomu Hoshimiya

東北学院中学・高等学校卒業。東北大学大学院工学研究科電子工学専攻博士課程修了。工学博士。北海道大学教授、東北大学教授、東北大学副総長などを歴任し、平成16年3月東北大学を定年退官。同年4月より東北学院大学長に就任。東北大学名誉教授。専門は電子工学。

陽春の候、在学生のご父母の皆様には、ますますご壮健のことと拝察申し上げます。常日頃、本学の教育・研究に対して深いご理解と温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

東北学院は、1886年（明治19年）に教師2名と生徒6名からはじまり、お蔭様で昨年創立121周年を迎えることが出来ました。その間、1949年（昭和24年）には学校教育法の改正に伴い東北学院専門学校が新制大学に昇格し、現行の東北学院大学がスタートいたしました。当時は文経学部の単一学部で英文学科と経済学科の2学科だけでしたが、現在では5学部14学科を擁し、東北・北海道地区を代表する総合私立大学に発展するまでになりました。

現在、東北学院大学には学部学生が約12,400名と大学院生が約200名在籍し、学問研究の研鑽と課外活動にそれぞれ励んでおります。創立以来、本学はプロテスタント・キリスト教に基づく人間形成を建学の精神とし、個人の尊厳を重視する教育の伝統のもとに聖書の隣人愛と奉仕の教えを大切にしてきました。この建学の精神は150,000名を超える同窓生にも引き継がれ、専門の知識や技術を活かしながら、それぞれの分野で「地の塩」「世の光」として活躍しているところからもお分かりいただけると思います。

このように、東北学院大学は学生の広い学習や色々な可能性に応えうる教育・研究体制を整えていますが、後援会からのご援助が、これらの学生の多様な学生生活と個性豊かな人格形成に大いに役立っていることは申し上げるまでもございません。本学の後援会は、今から59年前の昭和24年に設置され、大学院生を含む本学で学ぶ全ての学生諸君の学生生活を支えて参りました。大学としても学生諸君が充実した学生生活を送れるよう各種支援体制を整えサポートしておりますが、何よりも後援会からのご援助に感謝し、今後ともお願い申し上げます。

いま世界は、社会、政治、経済のあらゆる領域で急激に変化しています。本学では、その変化し続ける社会に対応できる人材の育成に努めますとともに、「絶えず変革されるべき大学」をモットーに常に時代の要請に応える大学へと日々改革に努めております。これからも本学独自の伝統を重んじつつ、21世紀に活躍する学生の皆さんに幅広い学びの場を提供できるよう、教職員一人ひとりが努力を惜しまない所存です。そして困難な時代だからこそ、本学学生がその掛け替えない学生時代に自らの個性を磨き、人間として大きく成長することを心から願っております。

## 平成20年度 東北学院大学後援会 役員・顧問・参与・事務局長 事務局員 名簿

(平成20年4月1日現在)

任期（平成18年5月21日～平成20年5月後援会総会）

- **会 長**  
丸 森 仲 吾（仙台市）
- **副会長**  
三 島 卓 郎（仙台市） 後 藤 久 幸（仙台市）
- **庶務担当理事**  
高 橋 祥 允（仙台市）
- **会計担当理事**  
小 濱 良 雅（仙台市）
- **理 事**  
伊 東 知 男（仙台市） 寒 河 江 満 子（仙台市）  
佐 久 間 敬 子（仙台市） 村 山 令 記（仙台市）  
渡 辺 静 吉（仙台市） 門 脇 利 勝（石巻市）  
桂 久 久（札幌市） 成 田 智 典（青森市）  
松 本 宏（八戸市） 小 野 寺 久 美 子（秋田市）  
深 澤 禎 彦（横手市） 工 藤 敏 納（盛岡市）  
大 友 敏 男（宮古市） 及 川 和 夫（北上市）  
浦 島 康 弘（大船渡市） 金 子 泰 雄（山形市）  
鈴 木 信 一（酒田市） 國 分 容 子（福島市）  
佐 々 木 信 之（福島市） 只 野 裕 一（相馬市）  
福 井 丈 夫（新潟市）
- **監 事**  
天 江 皓 一（仙台市） 白 木 進（仙台市）  
浅 野 ひとみ（仙台市）
- **顧 問**  
赤 澤 昭 三 星 宮 望
- **参 与**  
関 谷 登 大 塚 浩 司  
遠 藤 健 一 遠 藤 和 朗  
斎 藤 誠 遠 藤 銀 朗  
佐 々 木 俊 三 柴 田 良 孝  
佐 々 木 哲 夫 井 上 義 比 古  
千 葉 昭 彦 原 田 善 教  
原 征 明 佐 藤 司 郎  
秋 葉 勉 松 澤 茂  
佐 々 木 文 彦
- **事務局長**  
鈴 木 孝 郎
- **事務局員**  
今 野 靖 菅 野 健  
芳 賀 三 雄 吉 田 知 致  
佐 藤 光 男 斎 藤 淳 淳  
佐 荒 孝 夫 桔 梗 元 子  
伊 藤 秀 夫 門 脇 邦 知  
草 野 正 聡

# 平成20年度 東北学院大学後援会総会開催のお知らせ

本年も、新緑映える泉キャンパスを会場に、後援会総会を開催いたします。当日は、総会のほか、教員による公開講座やパイプオルガンコンサート、学科別懇談会や個別相談などの「大学開放プログラム」を多数用意しております。この機会に、ご子女の学生生活の一端に触れていただければ幸いです。ご父母の皆さまのご参加をお待ちしております。



昨年度の総会の様子

- 日時** 平成20年5月17日(土)
- 総会 / 10時40分～12時
  - 大学開放プログラム / 10時～17時
- 会場** 東北学院大学泉キャンパス (総会は礼拝堂)

## 平成20年度 東北学院大学後援会総会並びに大学開放プログラム 開催概要

日程:平成20年5月17日(土) / 場所:泉キャンパス

時間	内容
9:00	<b>受付総合案内所</b> 9:00～15:00 (1号館外)
10:00	<b>大学礼拝</b> 10:00～10:30 (礼拝堂)
10:40	<b>後援会総会</b> 10:40～12:00 (礼拝堂)
11:00	<b>1.開会宣言</b> <b>2.聖書朗読並びに祈祷</b> <b>3.挨拶</b> <b>4.議事</b> (1)平成19年度後援会庶務報告 (2)平成19年度後援会収支決算報告 (3)会計監査報告 (4)東北学院大学後援会規約の改正 (5)東北学院大学後援会会長選任 (6)平成20年度後援会事業計画(案) (7)平成20年度後援会収支予算(案) (8)その他 <b>5.閉会宣言</b>
11:00	<b>昼食</b> 11:00～14:30 (学生食堂)
12:00	<b>施設開放</b> 10:40～16:00 <b>(1)施設見学</b> 就職資料室 図書館 情報処理センター オーディオ・ビジュアルセンター カウンセリング・センター <b>(2)課外活動見学</b> 体育館 総合運動場 <b>(3)大学紹介</b> ビデオ上映 オーディオ・ビジュアルセンター
12:30	<b>個別相談コーナー</b> 12:30～16:00 (2号館各教室) <b>学生部</b> 奨学金・課外活動・アルバイト・健康管理 <b>就職部</b> 就職活動・求人状況・教員・公務員への試験対策と準備
13:00	<b>パイプオルガンコンサート</b> 13:10～13:40 (礼拝堂) 演奏者/今井 奈緒子 教養学部
14:00	<b>学科別懇談会</b> 13:50～14:50 (工学部は12:30～14:00) (2号館各教室) ・成績の見方、進級、卒業について ・学科の特色や教育内容 ・教員との自由懇談(希望者のみ)
15:00	<b>学生の就職を考えるセミナー</b> 15:00～16:00 講師/小島 貴子 (キャリアカウンセラー)
15:00	<b>多賀城キャンパス見学会</b> 15:00 泉キャンパス出発(無料送迎バス) 15:45～17:00 多賀城キャンパス見学 17:30 泉キャンパス到着(無料送迎バス)
16:00	
17:00	

## 平成20年度 東北学院大学地区後援会開催のお知らせ

地区後援会とは、主に大学の夏休み期間を利用して、北は北海道札幌市から南は宇都宮市までの全28地区に本学教職員が出向き、東北学院大学の近況のご報告や個別面談などを行うものです。5月の後援会総会の出席や欠席にかかわらず、どなたでもご参加いただけます。また、夏休み期間で帰省されているご子女と一緒にご参加いただくこともできます。該当する地域のご父母の皆さまへの正式なご案内状の発送は、6月中旬を予定しております。多数の方々のお申し込みをお待ちしております。

**実施期間** 平成20年7月12日(土)、8月8日(金)～9日(土)  
8月21日(金)～23日(土)、8月28日(木)～30日(土)

**実施会場** 全28地区(下記の表をご参照ください。)

**プログラム** 学務部・学生部・就職部からの説明、大学紹介ビデオの上映、  
教員による公開講座、昼食、個別面談など



昨年度の横手会場の様子

### 開催一覧

地域	開催地区	期日	時間	会場
北海道	札幌	8月30日(土)	10時～13時	京王プラザホテル札幌
	函館	8月29日(金)	//	函館ハーバービューホテル
青森	青森	8月30日(土)	//	青森グランドホテル
	弘前	8月29日(金)	//	ホテルニューキャッスル
	八戸	7月12日(土)	11時～14時	八戸グランドホテル
岩手	盛岡	8月23日(土)	10時～13時	ホテルメトロポリタン盛岡
	北上	8月21日(木)	//	ホテルシティプラザ北上
	一関	8月22日(金)	//	ホテルサンルート一関
	宮古	8月28日(木)	//	浄土ヶ浜パークホテル
	釜石	8月29日(金)	//	釜石ベイシティホテル
	大船渡	8月30日(土)	//	大船渡プラザホテル
	宮城	気仙沼	8月23日(土)	//
秋田	秋田	7月12日(土)	//	アキタパークホテル
	大館	8月28日(木)	//	秋北ホテル
	横手	8月21日(木)	//	横手セントラルホテル
山形	山形	7月12日(土)	10時～13時	山形国際ホテル
	新庄	8月22日(金)	//	ニューグランドホテル
	米沢	8月23日(土)	//	ホテルサンルート米沢
	酒田	8月9日(土)	//	ル・ポットフォー
	鶴岡	8月8日(金)	//	東京第一ホテル鶴岡
	福島	福島	8月9日(土)	//
福島	郡山	8月30日(土)	//	郡山ビューホテルアネックス
	会津若松	8月8日(金)	//	会津若松フシントンホテル
	相馬	8月23日(土)	//	ホテルふたばや
	いわき	8月22日(金)	//	いわきワシントンホテル
	新潟	新潟	8月9日(土)	//
茨城	水戸	8月8日(金)	//	水戸京成ホテル
栃木	宇都宮	8月9日(土)	//	チサンホテル宇都宮

※一覧表の内容が変更となる場合もあります。6月中旬発送予定の正式なご案内状をご確認ください。

※一覧表にある時間は全体会の開催時間です。個別面談を希望される場合の最終終了時間は、八戸地区が16時頃、青森・秋田・盛岡・山形・福島・郡山地区が15時頃、そのほかの地区は14時頃となります。なお、個別面談は先着順となります。



# 学びの舞台はキャンパスを飛び出し、地域社会の“現場”へ。 実践の中で、培われる知見、磨かれる資質、育まれる自信。

✦ 教養学部地域構想学科 高橋信二ゼミ

山積する課題、一人ひとりの英知が試される時代にあって、これからあるべき「地域」の姿を探求する人材の育成を。

今年2月、地元紙の県内スポーツ欄に「中高年メタボ対策、大学生が一役～真剣さ好評、効果も上々～」の見出しが躍りました。記事の中の「大学生」とは、本学の教養学部地域構想学科、高橋信二ゼミの学生たち。仙台市のスポーツ施設で運営する中高年向けスポーツ教室『U-ch（ユーチャンネル）』にスポットが当たりました。さて、その背景にはどんなストーリーが…と内容をご紹介します前に、本科の概要についてスペースを割きたいと思います。

現代社会は、多種多様な問題に縁

取られています。もはや先送りできなくなった環境問題、世界で類を見ない（そして人類がこれまで経験したことのない）超高齢社会の到来、それに伴う介護・福祉問題、少子化、地方の疲弊、あらゆる方面での格差の拡大など、枚挙に暇がありません。2005年4月に開設された本科は、自分たちが暮らすかけがえない“地域”に軸足を置き、誰もが安心していきいきと住み続けることができる地域づくりを、自ら考え、提唱できる人材の育成をめざしています。本科の“学び”は、キャンパス内にとどまりません。“現場”の息吹を肌で感じ、見聞を深め、それにより知識と能力を獲得していくものであり、まさに「机上」「実践」の両面からアプローチしていく教育です。本科の習得領域のひとつに挙げられる「生涯にわたる元気で健やかな生活の実現」について、地域スポーツを通じて具現していこうという試みのひとつが、前述の『U-ch』です。

企画～広報～運営、すべて自分たちの手で。アンケート調査で抽出された「専属トレーナー」へのニーズを具現。

『U-ch』の助走は、対象地域のマーケティング調査（住民ニーズの聞き取り）を実施した2006年から始まっていました。そのデータを基に、2007年春から10名のゼミ生一人ひとりが企画書を作成。甲乙つけがたいユニークな案の中から数案を選定し、運営をサポートしてくれる地元スポーツクラブとの協議を重ねながら、修正し、ひとつの企画にまとめあげました。休む間もなく、参加者を募るための告知や広報活動。チラシ制作やその配布も、すべて自分たちの手で行いました。「学生たちにとっては、初めての経験ばかりで、試行錯誤の連続だったと思いますが、自主性にまかせました。責任を負う、リスクを抱えるということ、身をもって体験できた良い機会だったのではないのでしょうか。全員がとても前向きかつ積極的であったことは特筆すべきことです」と高橋先生。9名の参加者も集まり、いよいよ高橋



④ ラフマニノフのピアノ協奏曲第2番、第3番が流れる研究室。「音楽はジャンルを問わずなんでも聴きますが、最近ではクラシックを選ぶことが多いですね。数百年前のものが今に残るということは、淘汰の歴史をいかくくってきたということ。人びとを惹きつけてきた“魅力”は、やはり奥深いです」と高橋先生。

教養学部 地域構想学科

高橋 信二 准教授 [博士(体育科学)]

1976年岩手県生まれ。2003年筑波大学大学院博士課程体育科学研究科修了。同大学院人間総合科学研究科研究員、東北学院大学教養学部講師を経て、2007年より現職。専門は、スポーツ健康科学/スポーツ統計学。

\*1 HDLコレステロール。血管壁にある余分なコレステロールを回収し、肝臓まで運ぶ役目を果たす。動脈硬化などを防ぐ働きがあるので、「善玉」と呼ばれる。

\*2 quality-of-life、クオリティ・オブ・ライフ。生活を物質的な面から量的にのみとらえるのではなく、精神的な豊かさや満足度も含めて、質的にとらえる考え方。生活の質。



『U-ch』の参加者一人ひとりに渡された体力測定結果シート(写真はダミー)。項目は、体力年齢、体脂肪率、体重、骨年齢、体力バランスなど。個人が抱える課題とスポーツ教室の成果がひと目でわかるようになっています。



遊んでいるわけでありません。楽しみながら体を動かすプログラムを開発中。足元にあるのは微妙な不安定感により体幹を強化し、バランス感覚を養うトレーニングパッド。第2期『U-ch』に登場予定です。

信二ゼミによる中高年向けスポーツ教室の始まりです。

『U-ch』は、まず、形態測定(身長、体重、体脂肪、骨密度ほか)、体力測定(文部科学省の新体力テスト65～79歳対象の項目に準ずる)、血液検査(血糖値、中性脂肪、善玉コレステロールなど)からスタート。それらの結果と個別アンケートを基に、一人ひとりに適した「個別運動メニュー」を考えていきます。『U-ch』のキャッチフレーズは“自分だけの専属トレーナー”。これは昨年のマーケティング調査から浮かび上がった「自分にあったプログラムが欲しい」「個別指導して欲しい」という声を反映させてのことです。ゼミ生がトレーナーとなり、きめ細かなマンツーマンの指導を行っていきます。ここでは、学生といえども専門家。事前に指導プログラムを繰り返し確認し、健康意識の高い参加者からの質問にも、的確に答えられるよう、最新情報を収集して準備万端で臨みます。

時代の要請「健康」「地域活性化」をスポーツでつなぎ、むすぶ。『U-ch(ユウチャンネル)』はセカンドステージへ。

初めは、緊張の連続だったゼミ生たちですが、回を重ねるごとに、参加者とのコミュニケーションも深まり、体調や気分にあわせて、運動負荷を増減する配慮もスムーズに行えるようになってきました。参加者からは「家でも体を動かすようになりました」「U-chがとても楽しみ、待ち遠しい」という声も聞かれるようになり、モチベーションはいやがうえにもアップ！そして全10回の終了時には、再び、形態測定、体力測定、血液検査などが実施され、データは参加者へフィードバックされました。それによると体力年齢は平均5歳若返り、善玉コレステロール<sup>\*1</sup>が増加したという結果が！参加者とともに喜ぶゼミ生たち。これまでの苦労が報われた瞬間です。

「生活習慣病、メタボリックシンドローム、QOL<sup>\*2</sup>といった言葉が広まるに比例して、運動・スポーツの大切さが説かれるようになりました。今回の『U-ch』

では、有意義かつ興味深いデータが出ましたが、実は運動が身体に及ぼす影響・効果はとても複雑であり、個人差が大きいです。しかし、体を動かす楽しさ、爽快感、喜びは、多くの人が実感できるもの。スポーツする“場”を共有し、コミュニケーションの手段として活かすことができれば、有機的な輪が広がり、地域の活性化につながっていくのではないのでしょうか。また、運動は身近なもの、無理なく継続して行うもの、といった意識改革にもつながってくれば、と切望します」と高橋先生。

学生によるスポーツ教室の企画・運営、専属トレーナーという難しいミッションを見事やり遂げた高橋信二ゼミ生。参加者からの好評を博した『U-ch』も今年度2期目の開催が決定し、さらなる内容の充実とデータの蓄積が期待されます。時代のキーワード「健康」、そして「地域社会」、それらをスポーツでつなぎ、むすぶ『U-ch』のチャレンジに、ご注目いただきたいと思います。

## MY FAVORITE

私のお気に入り

いくつかの研究実験案件を抱える高橋先生ですが、2007年8月から取り組んでいるのが「スポーツ・遊びが及ぼす心理的効用」です。ウォーキングやエアロバイク、次世代ゲーム(Wii SPORTS)などを行った際の情緒、情動、気分などを測定し、心の活性化にアプローチするもの。「けん玉」は、その実験種目のひとつ。ただ楽しんでいるのではなく「運動・動作によってもたらされる種々の“結果”を考察・検証する視点でみています」と研究者らしい言葉。鮮やかなキメ技に拍手！

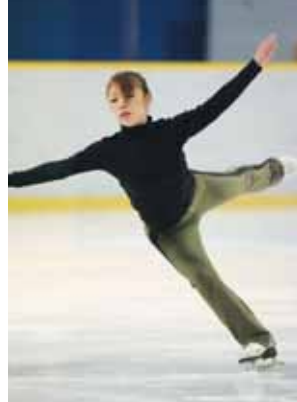


けん玉を披露する高橋先生

# 倶 楽 部 拝 見 スケート部



スケート部キャプテン  
菊地 妃奈子さん  
(教養学部言語文化学科3年)

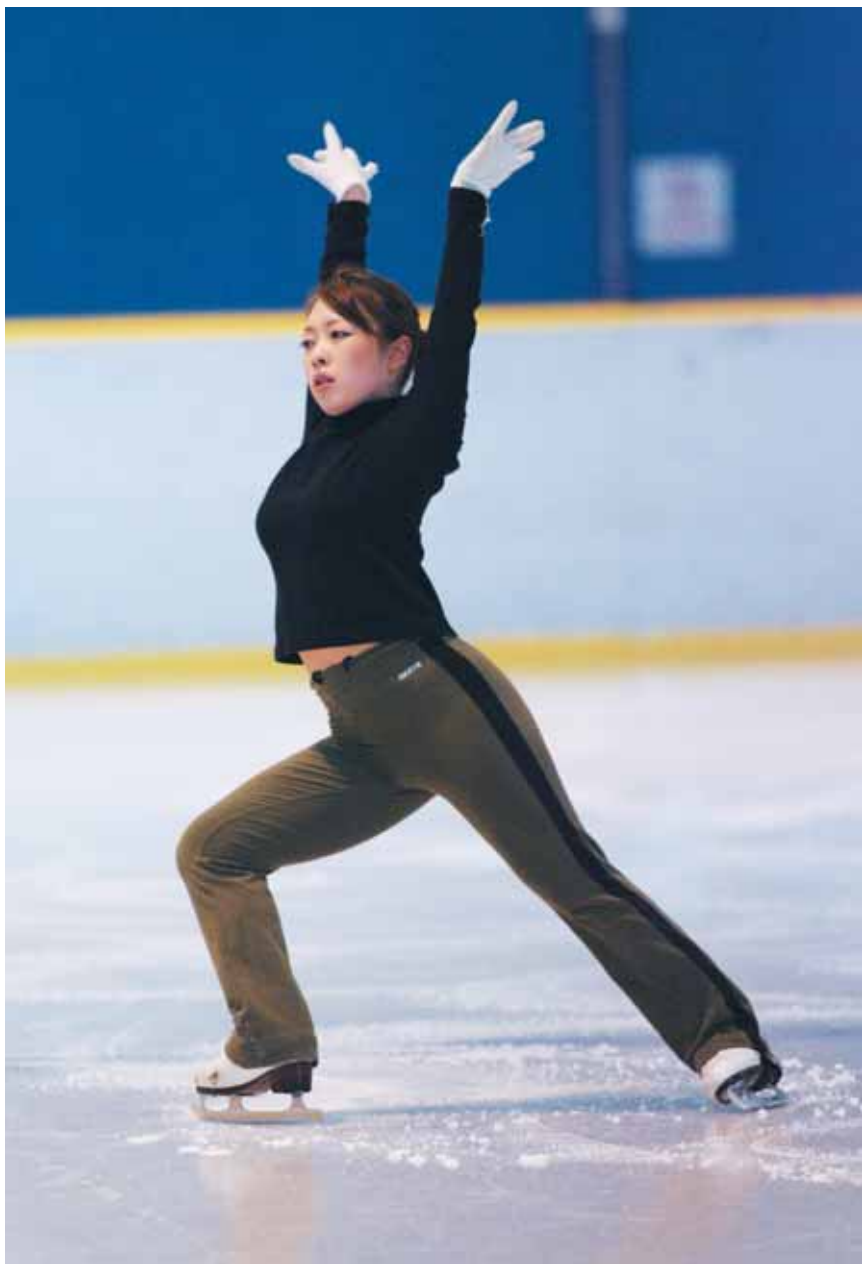


フィギュアスケートでは日本人初となるオリンピック金メダリストを輩出したリンクに、一人で淡々と練習に励む女性の姿があった。「フィギュアは競技に限れば大学卒業と同時に引退というのが通例。私自身もそのつもりでいるので、残りの2年間は自分なりに精いっぱい頑張ろうと思っています」。こう話すのは現在唯一のスケート部員である菊地妃奈子さん。

小学校3年からフィギュアスケートを始め、多くの大会で成績を残してきた彼女は、高校時代までフィギュア漬けと言っても過言ではない生活だったという。言い換えれば、トップをめざすにはそれだけの練習量が必要ということになるのかもしれない。もちろん今でも毎日の練習を欠かすことはないが、大学入学と同時にそのスタンスは若干変化した。「入学前は学業との両立はもっと簡単なものだと思っていました。ただ、実際にはそう甘いものではありませんでした」。

高校まではある程度フィギュアに専念できる環境が整っていたが、これからは違う。当初はそうした日々が戸惑い、厳しさも感じたという。特に12月から2月にかけて大会が集中するシーズンの最中は試験の時期と重なる。十分に練習したい。学業もおろそかにはしたくない。どちらかを切り捨てることは簡単にできる。しかし彼女はどちらも諦めることなく励んだ結果を、氷上あるいは机上で証明してきた。

卒業まで2年。それは同時に競技としてのフィギュアからの卒業になるのかもしれない。心のどこかでそのことを理解しているからこそ彼女は今を大切に生きている。「普段では絶対に人前で踊ったりすることはできない私が、氷の上に立つと不思議なほど自然に自分を表現できるんです」。そう言って氷上を舞う姿は、人々を魅了する輝きを放っている。





# LIBERO

リベロ



**リ**ベロ。イタリア語で“自由な人”という意味を持つ。サッカー用語として知られるこの言葉こそが、このサークルの名称。約10年前に誕生した「LIBERO」には現在70名を超えるメンバーが登録している。「名前を決めるのに特別な理由はなかったのでは」と所属メンバーは話す。決まった戦術を持たない自由なプレースタイルは語源の通り。かといってサッカー好きの集まりで実力が伴わないかというと、そうではない。昨夏に新潟で開催された大会では優勝を飾り、LIBEROのメンバーを中心に編成されたチームで挑んだアクションサッカーの大会でも、圧倒的な強さで予選リーグを勝ち上がり全国大会への出場を決めている。

東北ではあまり出場のお機会に恵まれず、主に関東の大会にエントリーすることが多いが、現在のメンバーが揃ってからは各種全国大会への出場を逃した例はほとんどな

いという。普段、週1回のペースで行う練習に参加するのは多い場合で30人。純粋にサッカーを愛し、楽しみたい。その想いはメンバーの誰もが抱いていることではあるが、主力としてサークルを引っ張る小野寺加芳さん、大友雅弥さん、横江俊樹さんらは声を揃える。「試合をするからには勝ちにこだわります」。

3月には30チームほどで全国大会へのチケットを争うカレッジサッカートーナメントが茨城で行われた。東北からの出場はLIBEROのみ。その日を間近に控え、キャプテンの横山大貴さんはひとつの目標を掲げていた。「全勝で全国大会へ弾みをつけたいと思っています。完全優勝してきます」。

そして挑んだ当日。予選リーグこそ全勝で勝ち上がったものの優勝は逃した。しかし彼等の目は次の目標に向いている。5月、那須で開催される大会でリベロは雪辱を誓う。



リベロキャプテン  
**横山 大貴**さん  
(経済学部経済学科4年)





# 平成20年度 東北学院大学年間スケジュール

大学の年間スケジュールをお知らせいたします。

ご父母の皆さまにもお覚えいただき、ご子女の円滑なる学生生活にお役立てください。

\*日程は変更となる場合もあります。

●年間スケジュール中の **土**印は土樋キャンパス、**泉**印は泉キャンパス、**工**印は工学部の日程です。

	前期	後期	
平成 20年 4月	1日(火) 成績発表 (土3・4年)	9月 8日(月) 授業開始 30日(火) 9月期卒業式	
	2日(水) 成績発表 (土泉2・4年、工2年)		
	3日(木) 入学式	10月 中旬 大学祭、ホームカミングデー (同窓祭)	
	4日(金) 新入生オリエンテーション (~9日)		
	10日(木) 授業開始	12月 5日(金) 泉キャンパスクリスマス (泉) 9日(火) 振替授業 (土泉) 10日(水) 授業終了 (土泉) 10日(水) 大学クリスマス (土泉) 11日(木) 冬休み開始 (土泉~1月3日) 11日(木) 集中講義・補講 (土泉~17日) 11日(木) 授業終了 (工) 11日(木) 大学クリスマス (工) 12日(金) 冬休み開始 (工~1月3日) 12日(金) 集中講義・振替授業・補講 (工~27日) 12日(金) 公開東北学院クリスマス (土)	
	12日(土) スプリング・カレッジ		
	17日(木) 科目登録届提出 (泉全学年、工2・4年)		
	18日(金) 科目登録届提出 (土全学年、工1・3年)		
	23日(水) 科目登録届確認 (土泉2・4年、工全学年)		
	24日(木) 科目登録届確認 (土泉1・3年、工全学年)		
	5月		15日(木) 創立記念日
			17日(土) 後援会総会 下旬 対青山学院大学総合定期戦
			6月 中旬 対北海学園大学総合定期戦
	7月		9日(水) 振替授業 (土泉)
10日(木) 授業終了 (土泉)			
11日(金) 補講 (土泉、~17日)			
15日(火) 授業終了 (工)			
16日(水) 振替授業・集中講義・補講 (工~23日)			
18日(金) 前期試験 (土泉~25日)			
24日(水) 前期試験 (工~8月1日)			
26日(土) 夏休み開始 (土泉~9月6日)			
26日(土) 集中講義 (土泉~8月1日)			
28日(月) サマー・カレッジⅠ (~30日)			
8月	2日(土) 夏休み開始 (工~9月6日)	2月 1日(日) 一般入学試験前期日程 (~3日) 中旬 卒業生発表	
	2日(土) オープンキャンパス (泉工)		
	3日(日) オープンキャンパス (工)	3月 6日(金) 一般入学試験後期課程 24日(火) 卒業式	
	4日(月) サマー・カレッジⅡ (~5日)		
	上旬 対青山学院大学二部交流定期戦		
	中旬 対北海学園大学二部総合定期戦		
9月	1日(月) 集中講義・補講 (全学部、~6日)		
	6日(土) 夏休み終了		

## より良い授業を目指して —FD活動への取り組み—

学務部長

井上 義比古

「大学の先生たちは、学生の教育よりも自分たちの好きな研究の方にばかり忙しくて、授業の方法などについては余り関心がなく、10年以上も同じノートで授業をしている人もいて、冗談も毎年同じで笑えない」。現在40代後半以降に属する多くの人が記憶している、あるいはイメージしている大学の授業は、おおむねこのようなものだったのではないのでしょうか。しかし、現在では、ずいぶん事情が違ってきているのです。

どの大学も、ファカルティ・ディベロップメント (Faculty Development)、略してFDと呼ばれる活動に取り組んでいます。「FDなんて初耳だ」、という方も多いかもしれません。実は、日本の大学教員たちにとっても、それほど以前から定着していた考え方ではないため、ご存じない方が多いのも不思議ではないのです。FDとは、教授集団の能力向上を目指す活動で、狭い意味では、上手で効果的な授業を展開するための活動を、広い意味では、大学の教員や教員組織の活動全般を向上させるための活動を指しています。

東北学院大学においては、学部・学科や教員個人による自主的な活動として、FDは以前から実質的に行われてきています。それに加えて、FDを担当する大学全体の専門組織であるFD推進委員会が設置され、各学部および大学院各研究科のFD担当機関と連携

して、学部や研究科における授業改善をサポートする体制が整えられました。

具体的なFD活動としておそらく一番知られているのが、「学生による授業評価」の集計結果を参考にして授業の内容や方法を改善することでしょう。昔は、先生の授業に学生が点数をつけることなど考えられませんでした。が、「学習者」が中心に置かれている現在の大学では、当然のこととされています。東北学院大学では、学部によって若干実施方法に違いがありますが、全ての学部・学科で「学生による授業評価」が行われています。

「学生による授業評価」は、授業をよくするうえで参考になりますが、同僚教員からの意見の重要性を忘れるわけにはゆきません。そこで、FD推進委員会では、全教員向けに（学生や事務職員にも公開）、FD研修会やFD講演会を開催するほか、学部が独自に行う研修会を支援しています。また、工学部の一部の学科では、教員が相互に「授業参観」を実施し、お互いに点数をつけあうなどして、授業の改善に努めています。

しかし、制度が整って教員全員がFDの重要性を自覚したとしても、教える内容や目的が科目や担当者によって異なるのが大学ですから、教育の効果を表すための普遍的で客観的な基準を設定することは難しいのが現状です。

このように、FD活動を効果的に展開するには、さまざまな困難を克服する必要がありますが、東北学院大学では客観的な基準の開発に努め、授業の効果を高める活動を継続してゆきます。



## ほめて伸ばす ～若者の心を育てる

学生部長

原田 善教

東北学院大学では、努力した学生に対して「ほめる」仕組みは以前よりありました。例えば、各年度の成績優秀者は、特待生、優等生として表彰されています。学部ごとに違っていますが、2007年度の特待生は全学で91名、優等生は280名でした。表彰される学生には賞状と記念品のほかに、褒賞として特待生には授業料の半額相当額が給付され、優等生には2万円の図書カードが給付されています。また、新入生オリエンテーションにおいてリーダーとして新入生のお世話をして頂いたボランティアの学生の皆さん50名には功労者として感謝状を贈呈しています。さらに、今年度も課外活動団体功労者として学生会、体育会、文化団体連合会、夜間クラブ連合会から合計162名を表彰いたしました。

2006年度よりがんばった学生を積極的に「ほめる」ことが、「若者の心を育てる」ことに大きく貢献すると考え、新たに学生表彰規程をつくりました。学術活動や課外活動において顕著な実績をあげた学生、社会貢献・ボランティアをした学生など様々な面で活躍した学生を「ほめる」規程です。2006年度は1団体と6名の個人を表彰しました。2007年度もすでに2団体と6名の個人を表彰しています。詳細は『東北学院時報』や大学広報誌『ウーラノス』に掲載されていますので、ご参照下さい。

また、卒業時学業成績優秀学生を表彰する仕組みも表彰規定に盛り込まれ、2006年度より実施されています。従来は単年度ごとの成績優秀者を特待生、優等生として表彰する仕組みだけしかなく、4年間を通じての成績が評価されることはありませんでした。そこで、4年間の学生生活を通じてしっかりと勉学に励んだ学生を積極的に「ほめる」ことにしました。学部学科別に人数は異っていますが、全学で49名の学生を毎年3月の卒業式の日に表示することにしています。この表彰式にはご父母の皆様にもご出席頂き、学業に対する努力を「ほめて」もらいたいと思っています。なお、今年度は都合により3月10日(月)午前11時より土樋キャンパス礼拝堂にて行いました。

がんばっている学生に対する大学のこのような姿勢がさらに多くの学生を鼓舞し、「世の光、地の塩」として地域社会に貢献する元気の良い学生がたくさんあらわれてくることを大いに期待しています。また、そうした学生を積極的に支援していくつもりです。



## 多様な価値観 をもった学生へ

—就職への道のり—

就職部長

原 証明

昨年の下期に発生した米国低所得者向け住宅融資（サブプライムローン）問題によるその後の損失拡大は、国際金融市場における投資動向の「不安定さ」をもたらし、ヨーロッパやアジア諸国の経済動向に思わぬ影を落としつつあります。日本でも円高の進行と株価下落の結果、昨年の今頃とは逆に日銀による景気判断の下方修正を余儀なくさせております。これはまさに「経済のグローバル化」時代の象徴的現象といえましょう。

その根幹には「市場競争」がありますが、影響は単に企業だけにとどまらず個人の生活にも深刻な結果をもたらしております。報道でも労働市場では正社員と非正規社員への二極分化（＝格差社会）が進行し、後者の割合が今や働く人たちのほぼ三分の一を占めつつあるとの指摘さえあります。それゆえこれらの影響は新卒予定の学生における今後の就職活動に予想以上の厳しさをもたらすようになるかも知れません。経済のグローバル化（＝国際化）の中で、企業は生産・流通を問わず厳しいコスト削減を強いられるのが現状ですから、採用する側にとっては出来るだけ即戦力のある人材に期待を寄せるわけです。バブル絶頂期には豊富なお金をつぎ込んで社員教育を積極的に実施し「適合する社員づくり」が経営上も可能でしたが、今では全く逆です。

ところが他方、少子化が進む中でいわゆる「全入時代」には、大学側が多様な学生を受け入れつつあるわけで、そうした若者の支援としての教育内容にも変化があり工夫が加えられつつあります。もちろん就職活動の支援も然りで、若い学生諸君が無理なく仕事に就けるように指導していかなくてはなりません。そこで大切なことは、企業への就職を希望する方々には早くから就職についてのイメージを体感していただきたい、ということです。希望する企業が今どういう人材をもとめているかを正しく知って就職活動にのぞんでほしいと思います。そのことに早く気づき積極的に取り組む姿勢こそが本当に大切なのです。最初から自分の活動範囲を限定し、有名な企業への就職だけを期待しないで、例えばやがては地方の利点を生かしたビジネスを起こしたりする人材にも育ててほしいと思います。最近、採用の側において多様な価値観をもった人材を重視するといわれることの所以です。就職課の窓口の積極的な利用を是非おすすめいたします。

# 教育研究振興資金募集のお願い

学校法人東北学院では、平成16年4月1日から平成21年3月31日の期間、次の事業の完遂に向けて教育研究振興資金を募集しております。広く皆さまのご理解とご支援をお願い申し上げます。

募金目標額  
**20億円**

- ① 東北学院榴ヶ岡高等学校体育館および管理棟建設
- ② 東北学院大学キャンパス整備
- ③ 東北学院会館(仮称)建設
- ④ 東北学院育英奨学基金の増額
- ⑤ 東北学院中学校高等学校校舎建設

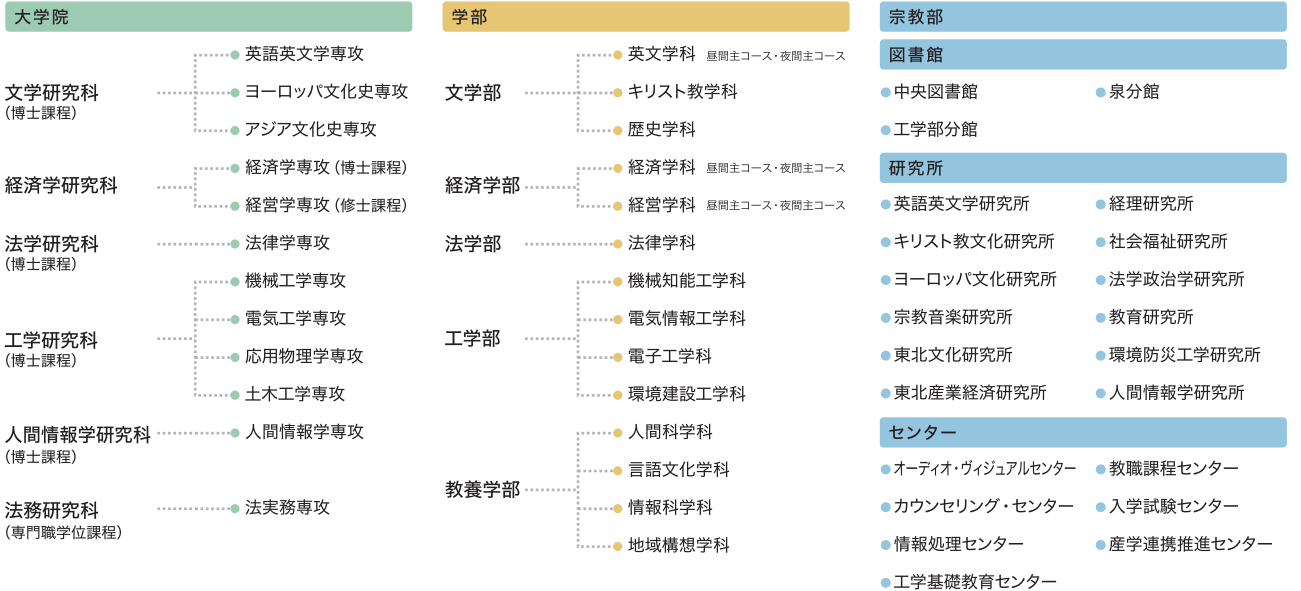
●詳しくは、こちらまで問い合わせください。

## 東北学院法人事務局財務部財務課

〒980-8511 仙台市青葉区土樋1-3-1  
tel 022-264-6467 fax 022-264-6510

## ORGANIZATION 教学組織図

平成20(2008)年4月1日現在



## 東北学院大学

**土樋キャンパス**

大学院：文学研究科、経済学研究科、法学研究科、法務研究科  
 学部：文学部・経済学部・法学部(各3・4年)・夜間主コース  
 〒980-8511 仙台市青葉区土樋1-3-1  
 tel 022-264-6421(総務課)  
 fax 022-264-3030( // )

**多賀城キャンパス**

大学院：工学研究科  
 学部：工学部  
 〒985-8537 多賀城市中央1-13-1  
 tel 022-368-1116(庶務係)  
 fax 022-368-7070( // )

**泉キャンパス**

大学院：人間情報学研究科  
 学部：文学部・経済学部・法学部(各1・2年)、教養学部  
 〒981-3193 仙台市泉区天神沢2-1-1  
 tel 022-375-1121(庶務係)  
 fax 022-375-4040( // )

## 東北学院大学後援会通信 GROWTH(グロス) vol.12 ■本誌に関するご意見・ご要望をお待ちしております。

発行日/平成20(2008)年4月  
 編集/東北学院大学後援会事務局(総務部総務課内)  
 発行/東北学院大学後援会 〒980-8511 仙台市青葉区土樋1-3-1 tel 022-264-6411 fax 022-264-3030  
 E-mail kouenkai@staff.tohoku-gakuin.ac.jp URL http://www.tohoku-gakuin.ac.jp/  
 印刷/ハリウコミュニケーションズ株式会社

○GROWTH(グロス)の意味は、「成長する」です。聖書には、「どんな種より小さいのに、成長するとどの野菜よりも大きくなり、空の鳥が来て枝に巣を作るほどの木になる」(マタイによる福音書13章32節)、また、「わたしは植え、アポロは水を注いだ。しかし、成長させてくださったのは神です」(コリントの信徒への手紙一3章6節)と記されています。東北学院大学の学生の皆さんが各分野において、知識や技術、教養を十分に修め、神と共に祝されつつ大きく成長するようという期待が本誌に込められています。

【本誌における個人情報及び掲載記事の取り扱いについて】本誌に掲載されている個人情報は、本人の了解のもと本誌に限り公開しているものです。よって、第三者がそれらの個人情報を別の目的で利用することや、本誌の無断転載はお断りしております。  
 【「個人情報保護法」への取り組みについて】平成17年4月1日より「個人情報の保護に関する法律」が施行されたのに伴い、東北学院大学後援会では個人情報の取り扱いについて、学校法人東北学院が制定した「学校法人東北学院個人情報保護規程」にのっとり、個人情報の適正な管理と保護に努めています。後援会事務局では、東北学院大学後援会の運営に必要な皆様個人の個人情報をお預りしていますが、今後も個人情報保護法に基づき慎重に取り扱って参りますので、皆様方のご理解・ご協力をお願いいたします。なお、後援会事務局で使用する個人情報の利用目的は次の通りです。  
 ●「父母のための大学ガイド」並びに「後援会通信「グロス」」の発行・送付 ●「後援会総会」並びに「地区後援会」の案内 ●その他、上記に関連する業務